

社会教育委員の会議 会議概要

1	審議会名	令和3年度第4回安曇野市社会教育委員の会議
2	日時	令和4年3月25日(金) 午後1時30分から3時30分まで
3	会場	安曇野市役所 本庁舎大会議室
4	出席者	幅修一委員(議長)、高橋みち子委員(副議長)、山崎浩委員、鳥羽將司委員、荻原義重委員、筒井年恵委員、柿本豊委員、千國寛一委員、山崎敦子委員、猿田みさ子委員、丸山明男委員、浅見郁子委員
5	市側出席者	平林教育部長、生涯学習課深澤課長、文化課山下課長、生涯学習課白井係長、生涯学習課遠藤係長、生涯学習課杉浦係長、生涯学習課財津係長、生涯学習課塩原係長、生涯学習課小松係長、生涯学習課小穴係長、生涯学習課堀内係長、文化課三澤係長、文化課中島係長、文化課逸見係長、文化課奈良澤係長、生涯学習課中村主査、生涯学習課金井主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年3月29日

協議事項等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課深澤課長
- 2 あいさつ 幅議長、平林教育部長
- 3 協議事項
 - (1)令和3年度事業報告 資料1
 - (2)令和4年度事業計画 資料2
 - (3)コミュニティスクール 資料3
- 4 報告事項

安曇野市教育施設の使用料及び減免割合の見直し 資料4
- 5 その他
- 6 閉 会 生涯学習課深澤課長

協議事項

- (1)令和3年度事業報告《説明：各課》
- (2)令和4年度事業計画《説明：各課》

【委員】

穂高地域事業について、令和3年度事業予算額が2,503,000円であるのに対し、令和4年度事業予算額は1,569,000円となっており、約1,000,000円減少している理由を教えてください。

【事務局】

令和3年度は、穂高納涼祭の予算額941,000円を予算として計上していた。令和4年度は、実行委員会予算として計上していないため、その分の差額が約1,000,000円の差となっている。

【委員】

令和3年度予算額と決算見込額を比較すると、稼働率は30%程度であり、多くの事業が中止になっている。感染症対策をとりながら、何とか実施できるように知恵を絞らないといけない。

また、実施した事業のなかで新型コロナウイルスの感染が拡大した事例はあるのか。

【事務局】

コロナ禍を経験する中で、オンライン講座を実施するなど、形を変えながらできる限り実施していきたい。

感染拡大した事例は報告されていない。

【委員】

令和3年度に実施できなかった事業費用は7,000,000円程度あり、このような余ったお金を子どもたちへ情操教育の資料を配布するなどして活用したらいかがか。

【事務局】

余った予算額は、財政調整基金に積み立てられるなどして活用される。当初の目的と異なる使い方をすることは、議会に承認いただく必要がある。

【事務局】

必要な費用が生じれば、予算を計上しなおすこともある。

情操教育について、安曇野市としても大事にしている。財源に配慮しながら考えていきたい。

【委員】

ICT講座について、公民館によって受講者の満足度が違う。特にシニア世代への効力を高めるなど、

5館で研究して取り組んでいただきたい。

【事務局】

参加者のニーズ・満足度を大事にしながら、5館で共有してより良くなるように努力したい。

(3) コミュニティスクール《説明：生涯学習課深澤課長》

【委員】

地域と学校がどのように連携して活動するかが課題である。また地域の高齢化も進んでいる。上手に立ち上げていただきたい。地域の行事には中学生が出てこないこともあり、難しいと思う。

【事務局】

できる人ができるときにできることを目標に、意見を参考にさせていただきながら進めたい。

報告事項

安曇野市教育施設の使用料及び減免割合の見直し《説明：生涯学習課深澤課長》